

2025年3月香港日本語教育セミナー：「日本語教育と生成AI」の概要

生成AIのレディネスに関する事前アンケートを実施いたします。参加者の皆様は無記名で、以下のURLにご記入いただけますようお願いいたします。

<https://forms.gle/J1GMntnK1m42b79q9>

【講演会】 2025年3月15日（土曜日）午後2時～5時30分

講演1 高橋 薫 先生

演題：生成AIと言語教育 —学習者にとって意味のある学習環境のデザインに必要なこと—

生成AIの急速な普及に伴い社会が求める知識やスキルも変化しつつあり、言語教育の現場でも学びの転換が求められています。生成AIは学習の個別最適化を促すことが期待される一方、過度に依存すると学びの空洞化を招く危険性も孕んでいます。では、生成AIと共存しながら学びを深めるには何に配慮する必要があるのでしょうか。本講演では、生成AIを活用した教育の実践例を紹介しつつ、学習者とAI、教師が共創する新しい学びの形を探ります。

講演2 我妻 潤子 先生

演題：生成AIと著作権 —類似性・依拠性の観点から—

著作権法は「ベルヌ条約」に基づき、加盟国で共通の基本原則を持っており、この条約を参考に各国で法解釈や裁判例が考慮されます。著作権保護には「表現とアイデアの二分論」という考え方があり、アイデアが似ているだけでは侵害ならず、具体的な表現の類似が問題となります。AIで生成した内容が他人の著作物と類似していないかを確認する際、この考え方を理解することが大切です。日本の裁判例を参考に、適切な判断基準を身につけましょう。

***以下の著作権教材（日本語ジャーナル読み物）と著作権ビデオ教材を事前に学習した上で当日の講演に参加していただく、反転授業形式で進めたく存じます。**

著作権教材

- 我妻潤子「日本語教師のためのよくわかる著作権 第1回 著作権ってなあに？」日本語ジャーナル <https://shop.alc.co.jp/blogs/nihongo-journal/20220804-chosakuken1?srsltid=AfmBOorjPI2MomHOXnC8UxhqUL83lrxAv4bBURt-X4ZulgRYBbJ8A-w0>
- 我妻潤子「日本語教師のためのよくわかる著作権 第2回 気を付けよう、著作権」日本語ジャーナル https://shop.alc.co.jp/blogs/nihongo-journal/20220901-chosakuken?srsltid=AfmBOorUOPTvGeAQ36L9HnmbSGalrT5jYgbBZo-a6M2v_M4fg3U6XMPb
- 我妻潤子「日本語教師のためのよくわかる著作権 第3回 授業に役立てる！著作権」日本語ジャーナル <https://shop.alc.co.jp/blogs/nihongo-journal/20221013-chosakuken3?srsltid=AfmBOopDog65IVpv7884CHjulOQJtMUzLxe9AZ2YJbHP6uYQJBZhaU1>

著作権ビデオ教材（2025/3/31 まで視聴可能）

- 我妻潤子「1. 著作権の考え方」（4:17）
<https://sokauniversity.box.com/s/64rakd4fvbsvizj08jhiku510elctb5d>
- 我妻潤子「2. 著作権 権利の内容」（9:29）
<https://sokauniversity.box.com/s/rjryujmja3oshrjh1rc7e1unxzlvfl6c>
- 我妻潤子「3. 著作権 教育著作権」（8:38）
<https://sokauniversity.box.com/s/81810gpj36fxv8ryrt7oao5nohi8ar41>

【ワークショップ】 2025年3月16日（日曜日）午後1時～5時30分

ワークショップ1 高橋 薫 先生

テーマ： 生成AIで変わるライティング授業 —新しい学習環境をデザインしよう—

本ワークショップでは、生成AIを活用して、ライティング授業をより効果的にする方法を探ります。教育の目的を見直し、学習者の成長に繋がる力をどのように伸ばすか、具体例を交えながら実践的に考えます。AIの可能性を体験し、授業デザインの新たな視点を獲得の機会です。教師としてのスキルアップを目指す方におすすめです。

ワークショップ2 我妻 潤子 先生

テーマ： 生成AIで教材作成！ 著作権の基礎も学べる実践型ワークショップ

生成AIを使って教材作成をしてみませんか？AIで作成した教材が著作権を侵害しないためには何が必要か、具体的な事例やポイントを解説します。実際にAIを活用しながら、安全で効果的な教材作りを体験し、実践力を身につけましょう！教育現場で役立つ知識とスキルを学ぶチャンスです。